

026	プリンスメロン(ハウス)
-----	--------------

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	プリンスメロン70a（トンネル40a、ハウス30a）、抑制メロン（ベネチア）30a、秋冬キャベツ40a、水稻200a
自家労働	2.5人
その他	鳥取型低コストハウスは補助事業を活用（1／2補助）

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次		◎ ————□□□□□□□□□□											

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、○トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (f) × (G) × 利子率
作業場	木・瓦	40 m ²	2,520,000	15	378,000	378,000	15	25,200	8	176,400	20	1,411
鳥取型低コストハウス	6×50m	10 棟	10,920,000	50	5,460,000	5,460,000	10	546,000	5	2,730,000	20	21,840
トラクタ	25ps	1 台	3,067,900	9	270,697	270,697	7	38,671	4	116,013	20	928
ロータリ	160cm	1 台	440,000	9	38,824	38,824	7	5,546	4	16,639	20	133
管理機	3.7ps	1 台	248,600	22	53,449	53,449	7	7,636	4	22,907	100	916
動力噴霧機	6.0ps	1 台	280,390	25	70,098	70,098	7	10,014	4	30,042	100	1,202
運搬車	600L	1 台	583,000	25	145,750	145,750	7	20,822	4	62,464	100	2,499
軽トラック 4WD 5MT	660cc	1 台	1,200,000	9	105,882	105,882	4	26,471	2	52,941	100	2,118
合計			19,259,890		6,522,699	6,522,699		680,359		3,207,406		31,047

4 技術体系（10a 当たり）

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
メロン	プリンス	ハウス	2,500kg	畑地	30a

項目	耕 種 基 準			作 業 基 準						
	作業期間	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃 料 消費量	
作業名	(月/旬～月/旬)					機械利 用時間	組 員数	延労働 時 間	(ℓ/10a)	
定 植 準 備	12/中	堆 肥 もみ殻	500kg	軽トラック	①有機物施用 全面に散布し、耕耘する。	0.5	2	18.0	ガソリン 1.1 軽油 4.0	
			1,000kg	トラクタ		2.0	1			
	2/中	過石 ランカク バイオノ有機S	30kg	人力、運搬車	②施肥、作畦 土壌改良材等を施用し、耕耘し、畦を 作る。	1.0	1	24.0	ガソリン 2.0 軽油 4.0	
			80kg	トラクタ		2.0	1			
			100kg	ロータリ						
				管理機						
	2/下	ネマトリクス粒剤 クレマト乳剤 トンネル支柱 外 〃 内 古ビニール ビニール 外 〃 内	20kg	灌水装置	③マルチ、トンネル 十分に灌水した後、除草剤を散布し マルチする。2重トンネル被覆を行 い地温を上げる。 霜の恐れのある場合、古ビニール等 を利用し被覆する。	0.5	1	26.0	軽油 0.5 ガソリン 0.5	
			300cc				0.5			2
			160本							
			150本							
400m										
400m										
定 植	3/上	ポット苗 ダイヤキャップ	470本 470枚	人力	①浅植えし、ダイヤキャップをかぶせ ておく。		3	24.0		
温 度 管 理	3/上～6/下			人力	①活着したらダイヤキャップを取り除 き内トンネルから順次開閉して適温 に管理する。 ②収穫前には裾も開放する。		1	68.0		
整 枝	3/上～6/下			人力	①親づるは本葉4～5枚で摘心する。 ②子づるは揃った3本を残し、20～25 節前後まで伸ばして摘心する。 ③着果孫づるは着果節より先1葉残し て摘心し、着果節のひ孫づるは着果 後早めに除く。		2	72.0		
追肥、中耕、 灌水、敷わら	3/中	バイオノ有機S 稲わら バイオノ有機S バイオノ有機S	10kg 125把 10kg 15kg	灌水装置 管理機	①ダイヤキャップ除去後、灌水する。	0.5	1	1.0	軽油 2.0	
	②子づるの本葉10枚の頃、通路の肩に 追肥をして中耕し、わらを薄く敷く。 ③開花前に通路に2回目の追肥をし、 かん水する。				1.0	2	10.0	ガソリン 1.5		
	④1番果収穫後3回目の追肥をし、か ん水する。				1.0	1	2.0			
	④1番果収穫後3回目の追肥をし、か ん水する。				1.0	1	4.0			
ホルモン処理、 灌水	4/中	ジベレリン液剤 トマトトーン	20cc 20ml	人力	①子房部散布または塗布する。株当た り9果を目標とする。		1	28.0		
	4/下			灌水装置	②着果後灌水する。	2.0	1	5.0	軽油 2.0	
玉直し・摘果	4/下	メロンシート	3290枚	人力	①開花後15日頃にシートを敷き、玉 直し。不良果は摘果し1株7果とする。			24.0		
収穫・出荷	6/下									
病害虫防除	3/上～7/中	アクタラ粒剤5 バレード20フロアブル ウララDF モベントフロアブル	940g 150ml 150g 150g	人力 動力噴霧機 軽トラック	①開花後35日前後に果皮色、果梗の 離層、葉の枯れ具合から収穫適期を 判断する。 ②朝収穫し、汚れた果実は布で拭いて 出荷する。	16.0	1	88.0	ガソリン 35.0	
					①定植時、株当たり2gのアクタラ粒 剤を処理する。 ②交配前に菌核病、うどんこ病の 防除を行う。 ③交配後にアブラムシ、ハダニ等の 防除を行う。					
後 片 づ け	7/下			人力	①茎葉は外へ出す。マルチは回収する。			32.0		
合 計								447.0		

5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説 明
粗収益	主産物価額③	1,184,000	1番果 生産量①： 2,000 kg 単価②： 592 円/kg
	主産物価額	265,500	2番果 生産量： 500 kg 単価： 531 円/kg
	主産物価額	0	生産量： 単価：
	副産物価額④	0	
	計 (A)	1,449,500	
生産費	生産原価	種 苗 費	83,190
		肥 料 費	31,440 使用資材等は技術体系のとおり
		農 薬 費	25,791 "
		諸 材 料 費	151,380 "
		動力光熱費	13,429
		農 具 費	9,213 機械負担価額×4%
		建物等修繕費	43,760 建物・構築物負担価額×1%
		賃 料 料 金	0
		共 済 掛 金	5,610
		雇 用 労 賃	10,212
		減価償却費⑤	226,786 別表のとおり
		土地改良費	2,455
		支払地代⑥	0
		小計 (B)	603,266
	販売費一般 管理費	出荷資材費	55,556
		販 売 諸 費	365,254
		諸税負担金	2,620 農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	3,765 農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	16,208 借入資本利率2%
		小計 (C)	443,403
	経 営 費 (D)		1,046,669 注) (D) = (B) + (C)
	家族労働費見積額 ⑧		551,200 農 従 労 働 時 間： 411.9 生産管理労働時間 12.1 1,300 円/時間
	支払利子・地代算入生産費(E)		1,597,869 主産物単位当たり 799 円/kg 注 (E) = (D) + ⑧ - ④
	自己資本	流動資本利子⑨	27,097 注) ⑨ = ((E) - ⑤ - ⑦) / 2 × 0.04
	利子(F)	固定資本利子	10,349 利子率4%
	自 作 地 地 代 (G)		2,150
	全算入生産費 (H)		1,637,466 生産物単位当たり 819 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)
所 得 (I)		402,831	時間当たり 950 円 注) (I) = (A) - (D)
所 得 率 (J)		28	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100
農企業利潤 (K)		-187,966	注) (K) = ③ - (H)
家族労働報酬 (L)		363,234	時間当たり 857 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)
農業資本利潤 (M)		-148,369	注) (M) = (I) - ⑧

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
定植準備					24.0	26.0																										18.0		68.0			
定植							24.0																											24.0			
温度管理							4.0	10.0	6.0	6.0	6.0	6.0																						44.0			
整枝							4.0	8.0	8.0	8.0	16.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0																	72.0			
追肥・中耕・灌水・数々								1.0	10.0	2.0						4.0																		17.0			
ホルモン処理・灌水											28.0	5.0																						33.0			
玉直し・摘果												12.0					12.0																	24.0			
収穫・出荷														8.0	22.0	20.0	15.0	15.0	8.0															88.0			
病虫害防除							3.0			3.0	3.0	3.0		3.0		3.0		3.0																21.0			
後片づけ																				32.0														32.0			
計	0.0	0.0	0.0	0.0	24.0	26.0	35.0	19.0	24.0	19.0	53.0	30.0	10.0	7.0	12.0	33.0	36.0	22.0	15.0	8.0	32.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.0	0.0	423.0		

生産管理労働時間

(12.1)